

平成 25 年度第 5 回経営会議概要

- 1 開催日時：平成 25 年 11 月 25 日（水）9:10～9:35
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 平成 26 年度人事異動方針について

●喜多人事課長（資料 1 に基づき説明）

方針の構成は昨年度と同様、「職員の意欲・能力の発揮」、「職員の人材育成」及び「仕事と家庭の両立支援」を 3 つの柱とする。

「職員の意欲・能力の発揮」では、女性職員の登用について、職員の適性やこれまでの経験を踏まえて、それらを発揮できる職へ配置することとした。

「仕事と家庭の両立支援」においては、家庭事情に配慮するというだけでなく、子育て等を行う職員の仕事への意欲や今後のビジョンを積極的に生かせる配置を行うこととした。また、管理職の配置にあたり、職員の仕事と家庭の両立を支援するとともに、応援、サポートしあう職場環境づくりに取り組む姿勢を重視することとした。

☆植田副知事

各部局において、女性登用、ワークライフバランス、男性職員の育児休業の取得等について積極的に取り組むようお願いする。

議題 2 「グローバル三重教育プラン」（仮称）（中間案）について

●倉田高校教育課長（資料 2 に基づき説明）

「グローバル三重教育プラン」（仮称）（中間案）において、グローバル社会において求められる 3 つの力、三重県における取組の現状と課題、取組の方向性と特徴、具体的施策をとりまとめた。また、別紙としてプランの構成事業一覧表を整理した。内容について、ご協議をいただきたい。

☆石垣副知事

プランとして取り組む対象は三重県民全体か、それとも学校教育の範囲内か。

●倉田高校教育課長

県民全体をイメージしており、学校教育だけでなく、企業等も含め幅広くとらえている。

●荒木教育総務課長

学校教育だけにとどまらず、人材育成の視点で各部の取組を入れた形で整理したい。

☆山川雇用経済部長

冒頭の書き出しで対象を三重県民とするなら、大学生や企業についての取組

も盛り込まないと、学校教育のプランに他の取組を入れた感じがあり、違和感がある。なぜこのプランを策定するのか対象を明確にして示す必要がある。

●荒木教育総務課長

施策全体が小中学校、高等学校中心になっているので、そういった部分があると思われる。プラン全体としては三重県民を対象と位置づけている。社会人等産業部門については、内容を検討したい。